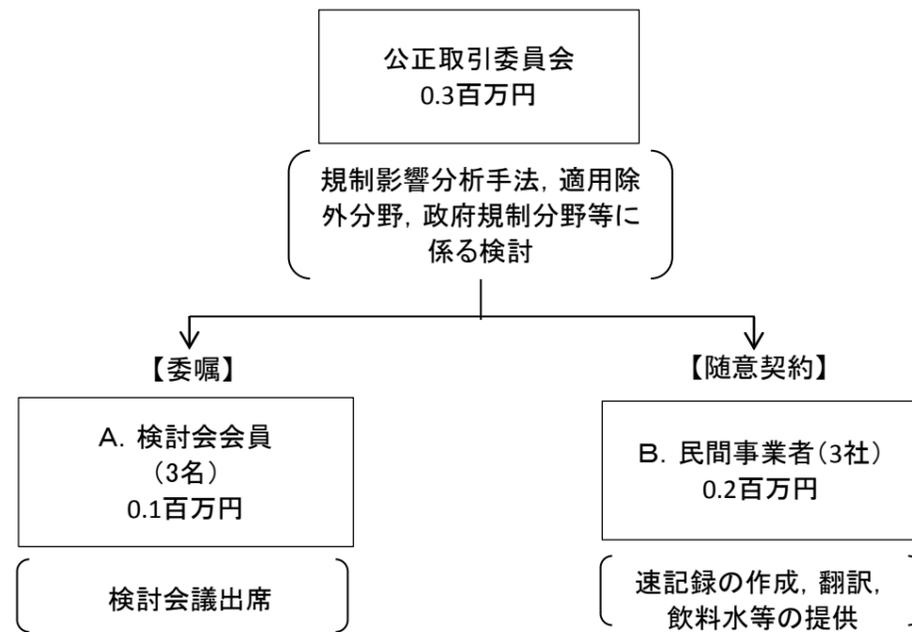


## 平成23年行政事業レビューシート

(公正取引委員会)

事業名	適用除外分野等検討会議		担当部局庁	経済取引局		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	昭和55年度～		担当課室	経済取引局調整課		笠原 宏		
会計区分	一般会計		施策名	③競争環境の整備				
根拠法令 (具体的な条項も記載)			関係する計画、通知等					
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	他の行政庁における規制の事前評価に当たっての競争評価の内容の向上を図るなどして、もって、競争的な市場環境を創出する。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	公的規制の見直し及び関連分野における競争確保・促進政策について検討を行うことを目的としており、昨年度からは、経済学や規制の事前評価の知見を有する複数の外部有識者を招いて規制影響分析手法等の検討を行っている。							
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 業務委託等 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)		20年度	21年度	22年度	23年度	24年度要求		
	予算 の 状 況	当初予算	3	3	3	1	1	
		補正予算	0	0	0	0		
		繰越し等	0	0	0	0		
		計	3	3	3	1		
	執行額	0.7	1	0.3				
執行率(%)	22	39	12					
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	成果指標		単位	20年度	21年度	22年度	目標値 (年度)	
	※本事業の目的は上記のとおりであり、これらに関して定量的な目標を示すことは困難である		成果実績					
			達成度	%				
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	20年度	21年度	22年度	23年度活動見込	
	検討会議開催回数		活動実績 (当初見込み)	回	3	6	2 (13)	— (7)
	競争評価の実施状況の検証		活動実績 (当初見込み)	件	—	—	67 —	— —
単位当たり コスト	156,319円(円/検討会議1回)		算出根拠	規制影響分析手法に係る検討会議開催に係る経費(312,637円)/開催回数(2回) なお、競争評価の実施状況の検証については特段の費用は発生していない。				
平成 2 3 ・ 2 4 年度 予算 内訳	費目	23年度当初予算	24年度要求	主な増減理由				
	諸謝金	0.5	0.5					
	委員等旅費	0.7	0.7					
	経済実態等調査費	0.3	0.3					
計	1.5	1.5						

事業所管部局による点検			
	評価	項目	特記事項
目的 状況・予算 の	○	広く国民のニーズがあり、優先度が高い事業であるか。	
	○	国が実施すべき事業であるか。地方自治体、民間等に委ねるべき事業ではないか。	
	○	不用率が大きい場合は、その理由を把握しているか。	
資金の 流れ、 費目・ 使途	○	支出先の選定は妥当か。競争性が確保されているか。	
	○	単位あたりコストの削減に努めているか。その水準は妥当か。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	－	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	
活動実績 、 成果実績	○	他の手段と比較して実効性の高い手段となっているか。	平成22年度の活動実績は2回の開催となっているが、これは、行政刷新会議において見直しを検討することとされた事項等に関する調査及び検討を優先的に行ったためである。
	－	適切な成果目標を立て、その達成度は着実に向上しているか。	
	△	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	
	－	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担となっているか。	
	○	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	
点 検 結 果	<p>競争的な市場環境を確保する観点から、規制影響分析の手法等について、有識者を交えて検討することは必要な取組であり、本会議で検討された手法を踏まえ、競争評価の実施状況の検証を平成22年度においては67件実施している。平成22年に実施した行政事業レビューにおいては、執行実績を勘案し、検討会議の開催回数に係る積算を見直し、予算を減額したところである。</p> <p>検討会議に係る平成22年度の活動実績は2回の開催となっているが、これは、行政刷新会議において見直しを検討することとされた事項等に関する調査及び検討を優先的に行ったためであり、平成23年度においては、当初見込み通りの検討会議開催を予定しており、当該検討会議に係るコスト水準も妥当なものとなっていることから、本取組を引き続き実施する。</p>		
<b>予算監視・効率化チームの所見</b>			
現状通り	必要性は理解でき、予算額も実態に即しているため、現状どおりとする。		
<b>上記の予算監視・効率化チームの所見を踏まえた改善点(概算要求における反映状況等)</b>			
チームの所見どおり、要求額を維持する。			
<b>補記 (過去に事業仕分け・公開プロセス等の対象となっている場合はその結果も記載)</b>			



**資金の流れ**  
 (資金の受け取り先が何を  
 行っているか  
 について補足  
 する) (単  
 位: 百万円)



支出先上位10者リスト

A. 検討会会員

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	個人A	検討会議への出席	0.08		
2	個人B	検討会議への出席	0.02		
3	個人C	検討会議への出席	0.02		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					

B. 民間事業者

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	(株)ホンヤク社	検討会に使用する資料の英文和訳の作成	0.11		
2	扶桑速記印刷(株)	検討会に係る速記録の作成	0.08		
3	(株)オーキッド	飲料水等の提供	0.0007		
4					
5					
6					
7					
8					
9					
10					